

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会
平成 24 年度 第 4 回理事会 議事録

- 1.開催日時 平成 24 年 7 月 5 日 午後 6:30～午後 7:00
- 2.開催場所 日本大学経済学部 7 号館 1 3 階会議室
- 3.理事総数 13 名
- 4.出席者数 3 名（書面表決書 4 名）
出席者（保原幸夫、岩山海渡、近藤克之 敬称略）
書面表決書（佐藤文宏、吉村豊、釜崎太、岡田英孝 敬称略）
- 5.議長選任 議長として保原幸夫氏が選出された。
- 6.議事の経過の概要および議決の結果
- 第 1 号議案 前回理事会（6 月 21 日開催分）議事録に関する件
保原氏から各理事に対し過日メールにて送信し、内容を確認していただいたが、特に疑義等がなかったため承認されたものとする旨報告があった。
- 第 2 号議案 議事録署名人の指名について
議事録署名人として岩山海渡氏と近藤克之氏が選出された。
- 第 3 号議案 認定 N P O 法人対応について
保原氏より N P O 法改正に伴う認定 N P O 取得基準の変更および認定 N P O 取得によるメリットおよび仮認定を申請するか否かの判断基準について説明があったが、今回は出席理事も少なく、欠席理事からの意見も連絡がなかったため、その対応については次回以降理事会での審議待ちとなった。
ただし、保原氏が数名の理事に意見を確認したところ概ね下記のような見解だった。
現状では大口寄付者の見込もなく、100 人以上の小口寄付者を集める見込もなさそうなので、当面は仮認定の申請は見合わせる。
むしろ、今後の事業の充実によって P S T（Public Support Test）の基準を満足した時点で本認定の申請をするのが現実的であろう。
なお、20 名程度の会員の年会費と現状の事業収益のみでは運営資金が賸えないので、認定 N P O を目指すかどうかはともかく寄付金等を取得するための方策を講じる必要はある。
- 第 4 号議案 「ランブリッジ」計画について
保原氏より藤田氏からの連絡内容等進捗状況について説明があった。
－実行委員の応募約 60 名から面接により 10 名の実行委員を選任した。
（大学生 8 名、社会人 2 名）
－9 月最終週に藤田氏と実行委員でインドネシア・バリ島での体験ツアーを実施し、その後実行委員がそれぞれ「ランブリッジ」計画の具体案を策定し、順次実施していく。
－本日、H.I.S スポーツ・文化推進デスクの角田氏にその旨説明をし、具体化段階での協力を頂けることになった。

- 第5号議案 2013アラフラゲームについて
第6号議案 2012メルボルンマラソンについて
第7号議案 各種ランニング教室について
第8号議案 シンポジウム「市民スポーツの海外交流を考える（仮）」について

第5号議案～第9号議案は出席者少数のため、審議を見合わせた。

第9号議案 その他

■次回理事会について

前回、今回と2回にわたって出席者が少なく、書面表決書の提出により理事会は成立したものの実質的な議案の審議ができなかったため、次回の理事会は各理事の都合を確認して決定することになった。


以上をもって議案全部の審議を終了したので、午後7時00分議長は閉会を宣言し散会した。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において下記に署名・押印する。


平成24年7月5日

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会

議長

保原 幸夫 

議事録署名人

岩山 海渡 

議事録署名人

近藤 克之 